

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ州)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2011年3月31日	2011年3月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別・犯罪集計結果: 補足文書 1
- C、多発の手口と場所の特定、防止策: 補足文書 2

A、一般的傾向

今月も先月に引き続き、空き巣・盗難、次いで強盗が圧倒的に多く見られました。次いで脅し・暴力行為や放火・破損、飲酒・無免許運転が多くなっています。個人宅や企業を狙った空き巣のほか、偽の水道局職員の手口を使った盗難も数件報告されており、相変わらずお年寄りが狙われています。強盗事件はスーパーやタバコ屋、ガソリンスタンドなどの小規模商店を狙った犯行が相変わらず多く見られました。個人に対する暴力窃盗も多く、商店経営者の自宅に強盗が押し入るといった計画的と見られる犯行も報告されています。

[補足文書 1]

B、地区別 治安情報集計結果

地区別に見ると、リヨン東地区の特に Villeurbanne に犯罪が集中しており、次いでリヨン北地区、リヨン 3 区となっています。

2011年3月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
殺人事件・凶悪事件										1						1	2
すり		1															1
空き巣・盗難	1		2		1	3	4	3		6	1	3	3	1		1	29
置き引き																	0
引ったくり		1				2				1							4
万引き																	0
強盗・暴力窃盗	1		2	2	1	2	1		2	8	1		4		1		25
窃盗(車・自転車)																	0
カー/ホームジャック												1					1
車内盗難													1				1
猥褻行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	1	1	2		1			1		2					1		9
詐欺(カードなど)																	0
拉致・誘拐																	0
破損・放火		1	2					2	1	1		1					8
ストーカー																	0
麻薬取引・所持		1						1		3		1					6
飲酒/無免許運転								1	1			1	2	2		1	8
夫婦間暴力										1							1
軽犯罪																	0
合計	3	5	8	2	3	7	6	7	4	23	2	7	10	3	2	3	95

備考欄:

リヨン東→Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons

リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison

[補足文書 2]

C. 多発の手口と場所の特定・防止策(新聞による報道記事から)

特に商店を狙った空き巣、専門企業や工事現場を狙った銅の盗難が多くなっています。また、今月もお年寄りを狙った偽の水道局職員と偽の警察官による手口が見られました。強盗事件では、商店経営者が売上金を銀行に持っていくところを狙われるケースや、商店経営者の自宅に押し入るケースが報告されており、被害者の習慣等を前もって調べた上での計画的な犯行と見られます。幸い、路上でハンドバッグをひたくられた女性が叫び声をあげて周囲の人が犯人を取り押さえたという朗報もあります。個人に対する暴力・窃盗の被害では、深夜の帰宅途中や、自宅のすぐ近くで狙われるケースが見られました。くれぐれも、周囲に怪しい人物がいないか、後ろから誰かにつけられていないかなど、十分な警戒が必要です。

① 強盗・脅し窃盗

- 2月28日午後10時半過ぎ、VilleurbanneにあるPMUで強盗。経営者の女性が赤ちゃんを抱いて店の外に出たところ、2人組の強盗犯がそこにおり、赤ちゃんを奪い取って代わりに売上金をよこせと要求した。犯人らは金を受け取ると赤ちゃんを渡して逃げた。被害額は数千ユーロにのぼる。(プログレ紙3月1日)
- 2月26日、Vénissieuxのパン屋が、防犯カメラのおかげで2人組の強盗が店のレジの売上金を盗んでいるのを発見。犯人らは気が付かれたと分かるとピストルで脅し、そのままオートバイで逃げた。(プログレ紙3月1日)
- 3月2日午後1時20分頃、顔を隠しピストルを持った男がVilleurbanneのバーに押し入り、金庫を開けるよう要求。またレジの売上金も奪って逃げた。(プログレ紙3月4日)
- 3月7日午前6時頃、リヨン3区のタバコ屋経営者が、売上金を銀行に持っていく途中、ピストルを持った男に脅され、数千ユーロを奪われた。(プログレ紙3月8日)
- 3月8日午後10時半頃、リヨン7区のピザ屋に覆面の3人組が押し入り、刃物で店員を脅して売上金の入った袋を奪った。(プログレ紙3月10日)
- 3月9日夜、Vénissieuxで、リヨン8区のバー・PMU経営者の自宅に武器を持った覆面の2人組が押し入り、家に独りでいた15歳の息子を脅して売上金と宝石類を奪った。被害額は1万5000ユーロ相当にのぼる。犯人らは息子をトイレに閉じ込めてから逃走した。(プログレ紙3月11日)
- 3月15日、Craponneにある宝石店の経営者が強盗の被害に遭った。犯人は3人組で、閉店間際のところへ各自がピストルを持って押し入り、店の奥にある金庫を開けるよう要求。中にあった金すべてと小額の現金を脅し取った。さらに犯人らは中庭に止めてあった車の鍵を要求し、これに乗って逃走した。(プログレ紙3月16日)
- 3月16日午後1時頃、Villeurbanneで、20歳の若者が男にナイフで脅され、ATMで50ユーロを引き出すよう要求された。(プログレ紙3月18日)
- 3月19日夜10時半頃、リヨン4区のピザ屋に強盗が押し入り、ナイフで脅して売上金を奪って逃げた。(プログレ紙3月21日)
- 3月22日午前9時半頃、Villeurbanneの小型スーパーに2人組が押し入り、ピストルで脅して金庫の現金1500ユーロを奪って逃げた。(プログレ紙3月23日)
- 3月24日夜10時前頃、Saint-Fonsで、閉店間際のPMUに武器を持った覆面の2人組が押し入り、ピストルで経営者を脅して金庫の中にあつた当日の売上金を奪って逃げた。(プログレ紙3月25日)
- 3月24日午後6時半頃、Couzonにあるパン屋に覆面の2人組が押し入り、ピストルで脅してレジの売上金を奪って逃げた。(プログレ紙3月25日)
- 3月26日午後3時頃、CaluireにあるスーパーAuchanのガソリンスタンドで強盗。犯人はスクーターでガソリンスタンドにやってくると、レジ係にドライバーを突きつけて売上金を脅し取った。被害額は500ユーロから1000ユーロ。(プログレ紙3月27日)
- 3月28日夕方、顔を覆った男がDécinesのガソリンスタンドに押し入り、ナイフで脅すと売上金150ユーロを奪って逃げた。(プログレ紙3月30日)

② 空き巣、盗難

- 2月28日午前3時頃、Meyzieuにある「キャッシュ・コンバーター」店に空き巣が侵入し、店内にあつた宝石、ラップトップコンピュータ、金庫にある少量の金が盗まれた。被害額は2万ユーロと推定された。(プログレ紙3月1日)

- 2月28日、リヨン6区で2人のお年寄りがそれぞれ偽の水道局職員、偽の警察官、偽の電気技師の手口による盗難の被害に遭った。1人目の犠牲者は宝石類と銀行カード、および現金300ユーロを盗まれた。2人目の犠牲者は、犯人らが去った後1万ユーロ相当の花瓶が無くなっているのに気が付いた。(プログレ紙3月2日)
- 3月1日深夜、Villeurbanneの一軒屋に空き巣が入り、機材、現金、ピストル2丁、それに車の鍵が盗まれた。午前2時頃、16歳と17歳の少年2人が警察の取締りを受け、空き巣事件の犯人と判明。さらに15歳の少年が3人目の共犯者として確認された。(プログレ紙3月4日)
- 3月3日午後9時20分頃、Saint-Priestで、空き巣を働いたばかりの4人組の若者が逮捕された。(プログレ紙3月5日)
- 3月3日午後1時前頃、Villeurbanneで、偽の水道局職員と警察官の手口による盗難事件が発生。現金3900ユーロと3万ユーロ相当の宝石類が盗まれた。(プログレ紙3月5日)
- 3月14日から16日の間に、Brignaisのフランス国鉄工事現場で500メートルの銅ケーブルが盗まれた。(プログレ紙3月18日)
- 3月20日深夜、リヨン3区で、29歳のホームレスが空き巣の現行犯で逮捕された。犯人は同区にあるブラッスリーのドアを壊して中に侵入し、売上金を盗もうとしたところを警察に見つかった。(プログレ紙3月22日)
- 3月21日深夜、リヨン8区にある電気自動車用モーター製造専門の会社に5人組が空き巣に入り、2トンの銅を2台の車に積んで逃走。途中で見つかると、4人は車を乗り捨てて逃げた。5人目は逮捕された。(プログレ紙3月23日)
- 3月25日夕方、Caluireにあるプライベートセキュリティの企業に空き巣が入り、12万ユーロ相当の宝石類が入った金庫と75万ユーロ相当の株券が盗まれた。(プログレ紙3月27日)
- リヨン2区で、60歳の女性のハンドバッグを奪ったばかりの17歳の少年が、通行人に取り押さえられた。犯行が起こったのは3月37日午後6時半頃で、被害者の叫び声を聞きつけた周囲の通行人が若者を捕まえ、その後警察に引き渡した。(プログレ紙3月29日)
- 3月29日午前2時頃、Villeurbanneのタバコ屋に空き巣が入り、タバコのカートリッジ50箱ほどが盗まれた。その後間もなく、近くで19歳と28歳の2人組が警察に逮捕された。1人は犯行を認め、もう1人は否認したが、後者の靴の後がタバコ屋のドアの跡と一致。また、同人の自宅から、3月26～28日にVilleurbanneの会社で盗まれたパソコンが見つかった。(プログレ紙3月30日)

③ 暴力・窃盗事件

- 2月25日深夜、リヨン1区の通りで、帰宅途中の男性が3人組の男に襲われ、殴られるなどの暴力を受け、銀行カードと車のキーを奪い取られた。犯人らは被害者の車に乗って逃げた。その後、Meyzieuで、焼かれた車が見つかった。(プログレ紙3月1日)
- 3月2日午後5時半頃、Vaulx-en-Velinで、20歳の男性がバスに乗っていたところ、若者2人組が横に座り、携帯電話を奪った。犯人らは次に被害者に一緒にバスを降りよう強制し、ATMで現金を引き出せと脅した。(プログレ紙3月4日)
- 3月4日午後8時過ぎ頃、リヨン3区にあるアパートの入口で女性が見知らぬ男に頭を殴られ、ネックレスを奪い取られた。犯人は住宅まで女性の後をつけてきたと見られる。(プログレ紙3月8日)
- 3月7日午後10時半頃、リヨン4区で、ピザ配達屋が2人組の若者に襲われ、現金35ユーロと携帯電話、銀行カードを奪い取られた。犯人らは被害者を脅して銀行カードの暗証番号を聞き出し、現金150ユーロを引き出した。犯人らはカードを被害者に返した。(プログレ紙3月9日)
- 3月7日午後10時半頃、リヨン8区の地下鉄Villon駅ホームで下車した42歳の男性が、若者にカッターと思われる刃物で顔を切りつけられた。その直前、車内で回りに迷惑行為をはたらいていた若者に被害者の男性が注意し、次の駅で一緒に下車したところを襲われたと見られる。事件担当の捜査官らは車内にいた乗客の中から目撃者を募っている。(プログレ紙3月9日)
- 3月16日午後3時半頃、リヨン6区で、16歳の未成年が引ったくりの容疑で警察に逮捕された。犯人は共犯者とともに19歳の女性のバッグを奪った。共犯者は逃走。(プログレ紙3月18日)
- 3月19日午前2時15分頃、Villeurbanneの自宅に帰宅途中の21歳の女性が、自宅の前で引ったくりの被害に遭い、ハンドバッグを奪われた。被害者はすぐに警察に届出て、間もなく5人組が逮捕された。(プログレ紙3月20日)
- 3月21日朝、15歳の少女2人が警察に逮捕された。2人は3月20日、リヨン9区で他の少女から携

帯電話を奪い取った疑い。

④ カード・小切手に関する窃盗

- 3月21日午後、Bronのショッピングセンターで、22歳の女性と33歳の男性が逮捕された。2人はその数時間前にSaint-Fonsで盗んだ銀行カードで1541ユーロ相当の買い物をしたばかりだった。(プログレ紙3月25日)

2.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ＝アルプ州における被害報告は特になし。(在リヨン出張駐在官事務所ソース)

4.その他の情報

欧州主要25カ国を対象とした大気汚染の寿命への影響調査「Aphekom」によると、定期的に大気汚染注意報が出ているリヨンでは、30歳以上の人において寿命が22ヶ月短くなるという。小児ぜんそく、慢性気管支炎などは、大気中の微小粒子状物質が直接の原因だ。リヨンおよびイゼール北部では昨日から微小粒子状物質の大気中濃度が規制を超えており、制限速度時速70km以上の自動車道でスピードを20km落とすなどの措置がとられている。(プログレ紙3月4日)

2008年からフランスで流行しているはしか(麻疹)が、特にローヌ＝アルプ州で急増しつつある。2010年に、フランス国立衛生監視研究所に届出されたローヌ＝アルプ州のはしか件数は953件にのぼった(2008年は126件、2009年は175件)。しかし、2010年10月1日から2011年2月27日の間に、地域健康機関(ARS)にすでに2720件のケースが報告されており、そのうち2000のケースが今年1月と2月に発生している。1月にローヌ＝アルプ州で718件が届出されたが、これは全国レベルでの1400ケースの半分にあたる。流行当初から、肺合併症による死亡者1名、重篤な神経系合併症発症者が4名となっている。(プログレ紙3月26日)